

1 / 1 PLUSPAT - ©QUESTEL-ORBIT - image

Patent Number :

JP1081113 A 19890327 [JP01081113]

Title :

(A) INDICATION METHOD FOR CABLE FUNCTION

Patent Assignee :

(A) SUNX LTD

Patent Assignee :

(A) SUNX LTD

Inventor(s) :

(A) KATO KAZUHIRO

Application Nbr :

JP23854987 19870922 [1987JP-0238549]

Priority Details :

JP23854987 19870922 [1987JP-0238549]

Intl Patent Class :

(A) H01B-007/36

Publication Stage :

(A) Doc. Laid open to publ. Inspec.

Abstract :

PURPOSE: To grasp the function of a cable at a glance and ensure the proper wiring and connection thereof by using color for indicating the cable function.

CONSTITUTION: Numbers 1 to 3 show each cable color and the color number 1 means a power line, showing an allowable range. The color number 2 means a grounding line and the color number 3 an output line, respectively. Or the descriptive letters of cable function may be shown by color. According to the aforesaid indication method, a space for indication can be kept at a minimum necessary and applied to machines and equipment of compact design. Also, as the cable function can be grasped at a glance, anyone can wire the cable and erroneous wiring can be prevented.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑪ Int.Cl.⁴

H 01 B 7/36

識別記号

庁内整理番号

Z-7364-5E

⑬ 公開 昭和64年(1989)3月27日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 ケーブル機能表記方法

⑮ 特 願 昭62-238549

⑯ 出 願 昭62(1987)9月22日

⑰ 発 明 者 加 藤 和 弘 東京都立川市曙町3丁目5番3号 サンクス株式会社内

⑱ 出 願 人 サンクス株式会社内 東京都立川市曙町3丁目5番3号

明 細 書

1 発明の名称 ケーブル機能表記方法

2 特許請求の範囲

1. 電気ケーブルの機能を色によって表記した
ケーブル機能表記方法。

3 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、電気機器におけるケーブルの機能表記方法に関するものである。

(従来技術)

従来よりシステムの一部として使用される電気機器は、単体では作動しないので制御部に接続される。その際、電気機器の一端から導出されている結束ケーブルの配線、接続を誤るために次の方法がとられている。以下、第3図乃至第5図に基いて従来の表記方法を説明する。

第3図は、電気機器5のケースに取り付けられている表示銘板である。枠4で囲まれている部分がケーブルの機能を表わしており、ケーブル色を文字で表記している。

第4図は、第3図の表示部分を簡略化したものでありケーブルの色が分かる程度に単語を簡潔にしたものである。枠4内に示されているBLKはBLACK、WHTはWHITEをあらわす。

第5図は、電気機器5の外形が小さい場合の取り付け方法をあらわしたもので、表示用銘板6を結束されたケーブルに巻き付けて取り付けしている。

(発明が解決しようとする問題点)

システムの一部として使用される電気機器は、ユーザーより省スペース化を要求され外形が小型化する傾向にある。即ち、ケーブル機能の表示部分の面積も縮小され、例えば第3図のように文字を全て記入するのであれば文字全体を縮小しなければならず記載事項を読み取るのが非常に煩わしい。また第4図のように単語を意味が理解できる程度に簡略化した場合、簡潔にした文字が似通っている単語がある。例えば、BLACK-BLK・BLUE-BLEの場合は末尾の文字がKかEの違いだけで文字の確認を確実に行わないと誤認を起し、システムの誤動作によるトラブルを

引き起こしかねない。更には、第5図のように結束ケーブルに表示銘板を巻き付けて取り付けた場合は、電気機器の設置箇所によって破損する虞があるので設置箇所を考慮しなくてはならない。

本発明は、上記実情に鑑みてなされたもので、表示面積を小さくしながらもケーブルの機能を確実に読み取ることができるケーブル機能表記方法を提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

本発明のケーブル機能表記方法は、従来の文字だけによる表記ではなく、色によってケーブル機能を表わすものである。

(作用)

前述の構成にすることによって、一目でケーブルの各機能を把握することができ確実に接続、配線が行える。

(実施例)

第1図は本発明の第1の実施例で、1、2、3はそれぞれケーブルの色をあらわしている。1の色は、ケーブルが電源ラインであることを示し、

12ボルトから24ボルトまでの許容範囲があることを表示している。2の色のケーブルはグラウンドラインを示し、3の色のケーブルは出力ラインであることを表示している。

第2図は第2の実施例で、ケーブル機能の説明の文字を該当するケーブルの色で表記した文字部分拡大図である。

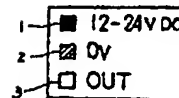
(効果)

以上に述べたケーブル機能表記方法によると、表記スペースを必要最小限に押さえることができ電気機器の小型化に十分対応し得る。また、一目で各ケーブルの機能を把握することが出来、誤記述によるトラブルも解消され、誰でも容易に配線作業ができ、かつ、銘板の細長いスペースでも実感を損なうことなく記載ができるという優れた効果を奏するものである。

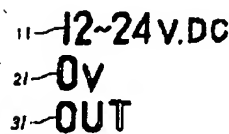
4 図面の簡単な説明

第1図乃至第2図は、本発明の実施例を表わす。第3図乃至第5図は従来例をあらわすもので、第3図は、従来表示銘板。第4図は色の単語の文字

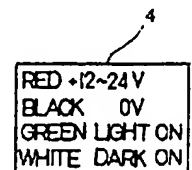
を簡便化した表示銘板を表わす。



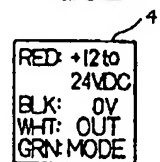
第1図



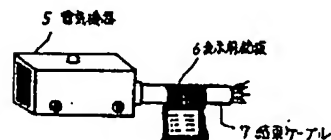
第2図



第3図



第4図



第5図

特許出願人

サンクス株式会社